

2012年10月25日

プレスリリース

本資料は10月25日にチューリッ
ヒで発表されたプレスリリースの
翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ
2012年第3四半期業績を発表**

**基礎的*コア税引前利益 12億300万スイス・フラン (CHF)、
株主に帰属する基礎的*純利益 8億9,100万 CHF、
基礎的*株主資本利益率 9.6%
各種の戦略的施策の実施成功の証明、
強力な顧客モメンタムを維持**

**当四半期コア税引前利益 3億5,900万 CHF、
株主に帰属する純利益 2億5,400万 CHF および
株主資本利益率 2.9%、
自社社債の信用スプレッドの大幅な縮小による税引前公正価値評価損 10億
4,800万 CHF を反映**

2012年1-9月通期業績：

- ・基礎的*コア税引前利益 38億3,500万 CHF、株主に帰属する基礎的*純利益
27億6,100万 CHF および基礎的*株主資本利益率 10.4%、**
- ・コア税引前利益 15億1,000万 CHF、株主に帰属する純利益 10億8,600万
CHF および株主資本利益率 4.2%、自社社債の税引前公正価値評価損 25億
6,300万 CHF を反映**

コスト節減措置、目標額を上回る：

- ・ 2013 年度中のコスト削減分、2011 年上半期の調整済み*年率換算ランレートに対して、30 億 CHF を超える見通し
- ・ さらに 2014 年と 2015 年の長期コスト削減計画により、コスト削減合計目標額を、2011 年上半期の調整済み*年率換算ランレートに対して、40 億 CHF に設定

資本基盤を引き続き強化；リスク加重資産とレバレッジを削減するさらなる措置を発表：

- ・ 前回発表した資本強化措置の実施に進展：当四半期ルックスルーのスイス国内資本比率 8.2%、試算ベースで 2012 年末までに 9.3%程度そして 2013 年半ばまでに 2018 年末要件 10%の達成に向けて順調に推移。
- ・ 2013 年末までにバランスシートを 1,300 億 CHF 圧縮（総資産の 13%に相当）することを目標とし、これによってレバレッジ・レシオの改善へ
- ・ インベストメント・バンキング部門のバーゼル 3 リスク加重資産（RWA）をさらに 10%削減し、2013 年末までに 1,800 億米ドルに減らす目標を設定
- ・ バーゼル 2.5 コア Tier 1 比率、2.2 パーセンテージ・ポイント増の 14.7%、資本比率合計、1.0 パーセンテージ・ポイント増の 21.2%へ
- ・ 予想安定調達比率（NSFR）100%超、強力な流動性

クレディ・スイス・グループは、2012 年 10 月 25 日、2012 年第 3 四半期業績および 2012 年 1-9 月通期業績ならびに従前、発表していた資本基盤強化措置の実施の進捗状況を発表しました。

今回の発表について、最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。

「当社では、目下、昨年から開始した戦略的施策の実施が成功裏に進捗しており、お客様との強力なモメンタムを維持しています。規制および市況の変化の要請によりの確に対応するため事業の整合化を実施し、その過程で大幅なリスク削減を行いました。同時に、大幅なコスト削減も実施し、全行規模で効率化を図りました。加えて、さらなる資本基盤の強化を図り、今後の規制上の要件に対応すべく、当社の貸借対照表の構造改善に取り組みました。このような取り組みを実施しながらも、当社はお客様に最高のアドバイスおよびサービスを提供すべく、極めて強力な基盤を構築しました」。

「2012 年第 3 四半期において、当社の各事業は、安定的な利益を上げる一方で、それぞれの業務の効率化に努めました。先に発表した 2013 年通期での 30 億 CHF のコスト削減という目標を上回る節減の達成が見込まれ、それ以降の年も追加のコスト削減を行っていく所存です。2012 年 7 月に発表した資本対策の実施は、目下、順調に推移しています。第 3 四半期末までに、当社のル

ックスルーのスイス国内コア資本比率は8.2%となり、先に発表した資本強化措置の完成とインベストメント・バンキング部門におけるさらなるリスク削減を通じて、2012年末までに試算ベースで9.3%程度に寄せ、2013年半ばまでに当社の目標でもあるスイス国内2018年末要件の10%の達成に向けて順調な軌道に乗っています」(ドゥーガン CEO)。

「通期で、当社は、顧客活動の低迷かつボラティリティが極めて高いと捉えられる環境にあつて、基礎的*株主資本利益10%を創出しました。2011年に開始した戦略的、資本強化およびコスト削減の各措置の本格的な実施により、当社は既に定めたその他の目標値はもちろん、循環的に株主資本利益目標15%以上を達成できると確信しています」とドゥーガン CEO は結びました。

2012年第3四半期業績の概要

クレディ・スイス・グループの2012年第3四半期のコア税引前利益は3億5,900万CHF、株主に帰属する純利益は2億5,400万CHF、株主資本利益率は2.9%、新規純資産は53億CHFでした。当四半期の業績は、自社社債の税引前公正価値評価損10億4,800万CHFを反映しています。この評価損は、当社の信用スプレッドの大幅な縮小によるものです。

当四半期の基礎的*コア税引前利益は12億300万CHF、株主に帰属する基礎的*純利益は8億9,100万CHF、基礎的*株主資本利益率は9.6%でした。2012年第2四半期の基礎的*コア税引前利益11億4,800万CHF、前年同期の基礎的*コア税引前損失3,400万CHFに比べ増益となりました。

決算ハイライト					
単位：百万CHF (別途記載がある場合を除く)	2012年 第3四半期	2012年 第2四半期	2011年 第3四半期	2012年 1-9月通期	2011年 1-9月通期
公表税引き前利益(コア業績)	359	1,111	1,036	1,510	3,747
基礎的*税引前利益/損失(コア業績)	1,203	1,148	(34)	3,835	3,346
公表純利益 株主帰属ベース	254	788	683	1,086	2,590
基礎的*純利益 株主帰属ベース	891	815	26	2,761	2,429
希薄化1株当たり利益(CHF)	0.16	0.46	0.53	0.71	1.95
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	2.9%	9.2%	8.7%	4.2%	10.7%
基礎的*株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	9.6%	9.3%	0.3%	10.4%	9.9%
バーゼル2.5 Tier 1 比率(期末)	18.5%	16.5%	14.3%	18.5%	14.3%
バーゼル2.5 コア Tier 1 比率(期末)	14.7%	12.5%	10.0%	14.7%	10.0%
FINMA レバレッジ・レシオ(バーゼル2.5)	5.2%	4.7%	4.9%	5.2%	4.9%
1株当たり簿価合計(CHF)	27.60	27.10	27.86	27.60	27.86
1株当たり有形簿価(CHF)	20.73	20.13	20.69	20.73	20.69

プライベート・バンキング部門の2012年第3四半期の純収益は25億9,100万CHF、税引前利益は6億8,900万CHF：

- ・純収益は、前年同期比安定的に推移。これは、トランザクション・ベース収益の低迷、純利息収入の増加および安定した経常手数料／フィー収益によるもの。
- ・コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：同部門の税引前利益に2億600万CHFの大きな貢献
- ・新規純資産は52億CHF。スイス国外のブッキング・センターにおける資産流入によるものであり、主に西欧を中心とする成熟市場からのスイス国内プラットフォームでの流出によって一部相殺。
- ・ウェルス・マネジメント顧客事業：すべての地域から流入があり、新規純資産51億CHF
- ・コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：新規純資産1億CHF
- ・同部門の運用資産は、2012年第2四半期から357億CHF増え、2007年以来初めて1兆CHF台に乗せる（1兆236億CHF）
- ・2014年までに、先に発表した戦略的施策からの累積効果目標8億CHFの達成に向けて順調に推移。

インベストメント・バンキング部門の2012年第3四半期の純収益は32億9,600万CHF、税引前利益は5億800万CHF：

- ・債券セール&トレーディング業務の収益は好調で、14億9,600万CHF、2012年第2四半期に対して26%増加した。これは、極めて強力な顧客フローおよび好調なトレーディング状況によるもので、とりわけ証券化商品、クレジットおよび法人融資の各分野で強みを発揮
- ・株式セールス&トレーディング業務の収益は堅調に推移しており、デリバティブおよびプライム・サービスの業績低下により2012年第2四半期に対して11%減少したものの、株式アービトラージ・トレーディング、ファンド連動商品および転換株式からの増収によって相殺されたことにより10億2,600万CHFを記録。
- ・引受およびアドバイザリー業務の収益は、債券引受、株式引受、M&Aおよびアドバイザリーの各フィー収入の強力な業績を反映して2012年第2四半期に対して35%増の8億6,800万CHF。
- ・営業費用合計は主にモーゲージ関連の問題に関する訴訟費用引当金の積み増しにより、2012年第2四半期に対して10%増の27億8,300万CHF。
- ・業務効率化によって、税引前マージンは、2011年1-9月通期の10%に対して2012年1-9月通期で18%に増加
- ・資本効率化によって、前年同期に比べ、バーゼル3リスク加重資産利用による収益は46%増。これは前年同期末以来のバーゼル3リスク加重資産の31%削減によるものである。
- ・2012年1-9月期のノーマライズド*・バーゼル3配分資本利益率は11%（2012年1-9月期の3%から増加）。2012年1-9月通期の当社の継続事業におけるノーマライズド*・バーゼル3配分資本利益率は16%（2012年1-9月期の6%から増加）。

アセット・マネジメント部門の2012年第3四半期の純収益は6億700万CHF、税引前利益は2億2,200万CHF：

- ・業績には、アバディーン・アセット・マネジメントに対する残りの7.0%の株式持分の売却益1億4,000万CHFおよびアセット・マネジメント・ファイナンスLLC（AMF）に関連した減損費用3,800万CHFが含まれる。
- ・強力な投資関連利益1億100万CHF（前年同期は1,700万CHFの損失）
- ・手数料ベース収益は、前年同期比で14%減少し、4億3,800万CHF。プライベート・エクイティに関連する成功報酬の減少と資本参加の減収の影響による。

- ・ 伝統的投資および多角的投資の資産流出が、オルタナティブ投資の資産流入によって一部相殺されたことにより、純資産流出額は5億CHF。
- ・ 流動性と資本効率性の高い代替事業に向けた同部門の戦略実施の進捗

コスト削減措置

2011年上半期の実績から推定した調整済み*年率換算ランレートに対して2012年上半期のコスト削減20億CHFの達成に成功し、2012年7月に、2013年の年間コスト削減目標を30億CHFに引き上げ後、クレディ・スイス・グループは、2014年中に達成すべき削減目標額を5億CHF増加し、2015年に達成すべき削減目標額をさらに5億CHF増加して、合計コスト削減目標額を、2011年上半期の調整済み*年率換算ランレートに対して40億CHFとする意向を本日発表しました。当四半期中に、コーポレート・センターでは、関連事業再編成コスト1億4,400万CHFを認識しました。

資本および資金調達

2012年7月、クレディ・スイス・グループは、現在の規制および市場環境に鑑み、資本金を153億CHF増強するための数多くの施策を発表しました。

当四半期末現在、2012年末までの追加資本目標153億CHFのうち先に発表した合計額128億CHFをすでに達成しています。当四半期末現在のルックスルーのスイス国内コア資本比率は8.2%で、クレディ・スイス・グループは、同比率を、試算ベースで2012年末までに9.3%程度に高め、2013年半ばまでにスイス国内の2018年末要件である10%を達成し、2013年末までに12%に近づけることができると確信しています。

当四半期末現在、クレディ・スイス・グループは、バーゼル2.5コアTier 1比率14.7%、バーゼル2.5 Tier 1比率18.5%を報告し、それぞれ、2012年第2四半期を2.2パーセンテージ・ポイントと2.0パーセンテージ・ポイント上回りました。当四半期末現在のグループの資本比率合計は21.2%でした。

クレディ・スイス・グループは、インベストメント・バンキング部門のリスク加重資産を、当四半期の2,040億米ドルから2013年末までにさらに1,800億米ドルに削減することを本日発表しました。

また、クレディ・スイス・グループは、貸借対照表上の総資産を、為替変動を考慮しないベースで、2013年末までに1,300億CHF、すなわち13%削減するという目標を設定し、それを達成するための施策を本日発表しました。これらの施策については、当行の収益にもたらす影響は限定的なものに留まる見通しで、レバレッジ・レシオを高める効果があります。当四半期末現在のクレディ・スイス・グループのFINMAレバレッジ・レシオは5.2%で、現在の要件を十分超えています。

クレディ・スイス・グループは、引き続き保守的な流動性管理を行っており、当四半期末現在の現行FINMA枠に基づく安定調達比率(NSFR)は100%を超えています。

部門別業績詳細

プライベート・バンキング部門

グローバル・ベースのウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業から構成されるプライベート・バンキング部門は、2012年第3四半期において純収益25億9,100万CHF、税引前利益6億8,900万CHFを計上しました。これは、顧客活動の低迷と経営コストの増加という事業環境におけるマージンへの圧力が、戦略的施策の継続的实施によって一部緩和されたことによります。純収益は前年同期に対して安定的に推移しました。純収益は、2012年第2四半期比で主要収益分野がすべての減収となったことにより、4%減少しました。営業費用合計は、前年同期比および2012年第2四半期比でそれぞれ安定的に推移しました（2011年第3四半期については、米国およびドイツの税務問題に関連して訴訟関連引当金4億7,800万CHFを調整）。

ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の純収益は21億1,700万CHFで、前年同期に対して安定的に推移しました。これは、純利息収入の増加、経常手数料／フィーの安定収入、およびトランザクション・ベース収益の減少によるものです。2012年第2四半期に比べ、当四半期の純収益は5%減となりましたが、これは、主要収益分野すべてにおける減収によるものです。純利息収入は、困難な金利環境において若干減少しました。2012年第2四半期に対するトランザクション・ベース収益の減少は、主に2012年第2四半期にクラリデン・ロイの統合からの利益を認識したことによるものであり、このうちの4,100万CHFは、非中核事業の売却に関連したものです。この利益は、2012年第3四半期中の仲介手数料と商品発行手数料の高騰により一部相殺されました。経常手数料／フィーは減収となりましたが、これは主に2012年第2四半期までの半期分のパフォーマンス・フィーの収入によるものです。当四半期の税引前利益は4億8,300万CHFでした。前年同期は900万CHFの税引前損失でしたが、これには、訴訟関連引当金4億7,800万CHFが含まれていました。2012年第2四半期の税引前利益は5億5,100万CHFとなり、これにはクラリデン・ロイの統合化からの利益が含まれていました。当四半期の営業費用合計は16億800万CHFで、2011年第3四半期の訴訟関連引当金を除いた場合、前年同期を若干下回りました。営業費用合計は、2012年第2四半期を若干下回りました。これは主に従業員報酬および給付の減少が、主に規制上コストの増加による一般管理費の増加によって一部相殺されたことによるものでした。貸倒引当金は、融資ポートフォリオ1,450億CHFに対して2,600万CHFでした。当四半期のグロス・マージン107ベース・ポイントは前年同期、2012年第2四半期のいずれも大幅に下回りましたが、これは2012年第2四半期のクラリデン・ロイの統合からの利益、保守的な顧客資産ミックス、顧客活動の低迷、金利環境の悪化、運用資産の増加を反映していません。当四半期末までの同事業の運用資産残高は8,033億CHFで、2012年第2四半期末の7,741億CHF、前年同期末の7,218億CHFを上回りました。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客および世界中の銀行からのニーズに対応した包括的サービスを提供しています。2012年第3四半期の純収益は4億7,400万CHFとなり、前年同期比安定的に推移し、2012年第2四半期を若干下回りました。当四半期の税引前利益2億600万CHFは前年同期比で5%減少しましたが、これは、貸倒引当金の積み増しおよび営業費用合計の若干の増加によるものです。当四半期の税引前利益は2012年第2四半期を8%下回りましたが、これは主に純収益の減少と営業費用の増加によるものです。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の当四半期の純収益は 32 億 9,600 万 CHF、税引前利益は 5 億 800 万 CHF を計上しました。

2012 年 1-9 月通期の同部門の継続事業におけるノーマライズド*税引後バーゼル 3 配分資本利益率は、2012 年 1-9 月通期の 6%から 16%に上昇しましたが、これはよりバランスの取れた事業ミックス、市場シェア・モメンタムの継続、バーゼル 3 リスク加重資産の大幅な削減およびオペレーティング・レバレッジの強化を反映したものです。

当四半期における同部門の業績は、強力なフランチャイズ・モメンタムならびに業務および資本効率化戦略の継続的な実行の成果を具体的に示しています。

債券セールス&トレーディング業務の収益 14 億 9,600 万 CHF は、堅実な顧客フローおよび有利なトレーディング状況を反映しています。前年同期に対して収益は 178%増加しましたが、これは証券化商品とグローバル・クレジット商品の収益の大幅な伸びによるものでした。また、この増収は、高利回り債券商品に対する顧客需要の拡大に伴う、より有利な市場環境とエマージング市場の業績回復によるものです。業績は、収益の変動の縮小による、よりバランスの取れた事業ポートフォリオの恩恵を受けましたが、これは一層の改善を図った当社の戦略の一環として在庫水準が大幅に低下したことによります。当四半期の収益は、2012 年第 2 四半期を 26%上回りましたが、これは証券化商品とグローバル・クレジット商品の業績の向上、法人融資業務からの増収、クレディ・スイス・グループが撤退を進めている事業からの損失の減少によるものです。

株式セールス&トレーディング業務の収益 10 億 2,600 万 CHF は、前年同期を 15%上回りましたが、これは流通市場の取引高が減少したものの、資本市場での好調を反映しています。収益は 2012 年第 2 四半期を 11%下回りましたが、これはアジアにおける保守的なリスク・ポジションおよびプライマリー・サービス収益の季節的な減少によるものです。

引受およびアドバイザリー業務の収益 8 億 6,800 万 CHF は、前年同期、2012 年第 2 四半期をそれぞれ 43%、35%上回りました。この増収は、ハイイールドおよび投資適格債券の起債数量の大幅な拡大による債券引受業務の好調な収益によるものです。株式引受業務の業績も回復しましたが、これはグローバルな追加発行および転換株式発行からの増益によります。さらに、企業の合併および買収 (M&A) ならびにアドバイザリー業務の収益も拡大しました。これは、M&A アドバイザリーおよびプライベート・プレースメントのフィー収入の増加によるものでした。

当四半期の従業員の報酬および給付は、2012 年第 2 四半期を 6,300 万 CHF、すなわち 4%上回りましたが、これは主に前年の報酬付与からの繰延報酬関連費用の増加によるものです。2012 年 1-9 月通期営業費用合計は、2012 年第 1 四半期に計上した PAF2 に関連した繰延報酬関連費用 4 億 1,800 万 CHF と、当四半期に計上した特定大型訴訟問題関連費用 1 億 3,600 万 CHF を除いた場合、2011 年 1-9 月通期に対して 9 億 3,200 万 CHF、すなわち 10%減少しました。

当四半期の一般管理費 10 億 2,700 万 CHF は、前年同期比で 14%の増加、2012 年第 2 四半期比で 22%増加でした。この増加は、主にモーゲージ関連問題に関してインベストメント・バンキング部門で計上した特定大型訴訟関連引当金 1 億 3,600 万 CHF によるものでした。

アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の当四半期の純収益は 6 億 700 万 CHF、税引前利益は 2 億 2,200 万 CHF を計上しました。

クレディ・スイス・グループは、2012 年 7 月にアバディーン・アセット・マネジメントの残りの持株を売却し、1 億 4,000 万 CHF の利益がありました。以前の売却で、2012 年第 2 四半期に 6,600 万 CHF、2011 年第 3 四半期に 1,500 万 CHF がそれぞれ認識されています。アバディーン持株売却益以外の資本参加およびその他の利益には、アセット・マネジメント・ファイナンス LLC 関連の減損費用 3,800 万 CHF が含まれています。

これらの株式売却利益分と減損費用計上分を除いた当四半期の税引前利益は 1 億 2,000 万 CHF でした（2012 年第 2 四半期は 6,700 万 CHF、前年同期は 8,200 万 CHF）。

当四半期の手数料ベース収益 4 億 3,800 万 CHF は、前年同期比で 14% 減少、2012 年第 2 四半期比で 8% 減少となりましたが、これは運用報酬、成功報酬、資本参加の各収入の減少によるものです。当四半期の手数料ベース・マージンは 48 ベーシス・ポイントでした（前年同期は 56 ベーシス・ポイント）。

当四半期の投資関連利益は 1 億 100 万 CHF で、前年同期の損失 1,700 万 CHF、2012 年第 2 四半期の利益 2,700 万 CHF を上回りました。

当四半期の営業費用合計は 3 億 8,500 万 CHF で、前年同期比で 3% 減少、2012 年第 2 四半期比で 8% 減少となりました。2012 年 1-9 月通期の営業費用合計は、外国為替換算でマイナス影響にもかかわらず、2011 年 1-9 月通期同期を 4,800 万 CHF、すなわち 4% 下回りました。

部門別業績		2012 年 第 3 四半期	2012 年 第 2 四半期	2011 年 第 3 四半期	2012 年第 2 四半期 からの増減率 (%)	2011 年第 3 四半期 からの増減率 (%)
単位：百万 CHF (別途記載がある場合を除く)						
プライベート バンキング	純収益	2,591	2,704	2,600	(4)	0
	貸倒引当金繰入額	36	39	25	(8)	44
	営業費用合計	1,866	1,890	2,368	(1)	(21)
	税引前利益	689	775	207	(11)	233
インベストメント バンキング	純収益	3,296	2,909	1,981	13	66
	貸倒引当金繰入額	5	(14)	59	-	(92)
	営業費用合計	2,783	2,540	2,642	10	5
	税引前利益/(損失)	508	383	(720)	33	-
アセット マネジメント	純収益	607	550	493	10	23
	貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
	営業費用合計	385	417	396	(8)	(3)
	税引前利益	222	133	97	67	129

新規純資産

クレディ・スイス・グループの2012年第3四半期の純資産流入は53億CHFでした。プライベート・バンキング部門は、52億CHFの新規純資産を獲得しました。このうち、ウェルス・マネジメント顧客事業は51億CHFの新規純資産の獲得に貢献しましたが、これはエマージング市場分野を中心とするすべての地域からの資産流入、および超富裕顧客（UHNWI）層からの資産流入によるものでした。スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業からの流入額は1億CHFでした。アセット・マネジメント部門は5億CHFの純資産流出を記録しましたが、これは、伝統的な投資および多角的投資の流出が、オルタナティブ投資の流入によって一部相殺されたことによるものでした。

コーポレート・センター

コーポレート・センターは、2012年第3四半期に税引前損失10億6,000万CHFを計上しました。これには、自社社債の公正価値評価損6億8,100万CHF、単独デリバティブの公正価値評価損2,900万CHF、一定のストラクチャード・ノート負債証券の借方評価調整分3億3,800万CHFが含まれており、これら3つの合計である10億4,800万CHFが当四半期に計上されました。2012年第2四半期は1億8,000万CHFの税引前損失、前年同期は14億5,200万CHFの税引前利益でした。

統合事業モデルのメリット

クレディ・スイス・グループの当四半期の統合事業モデルからのコラボレーション収益は11億6,600万CHFでした。

(注*) 下表の基礎的、ノーマライズド、調整済みの業績は、GAAPによらない財務評価基準によるものです。下表には、このような財務評価基準のうちの一定の調整分が含まれています。基礎的、ノーマライズド、調整済みの財務評価基準（過去期間の調整、調整年率換算ベースの費用ランレート、インベストメント・バンキング部門の継続事業のノーマライズド・ベースの税引後バーゼル3配分資本利益率を含む）の算定の詳細については、2012年第3四半期業績説明会用スライドをご覧ください。

2012年第3四半期および2012年1-9月通期の主要項目の概要										
単位：百万 CHF	コア業績		法人税費用		支配権を		株主帰属		株主資本	
	税引前利益		/(利益)		有しない持分		ベース		利益率	
	3Q12	9M12	3Q12	9M12	3Q12	9M12	3Q12	9M12	3Q12	9M12
報告業績	359	1,510	(101)	(396)	(4)	(28)	254	1,086	2.9%	4.2%
自社債信用スプレッドの変動による公正価値評価損失(注1)	1,048	2,563	(183)	(606)	0	0	865	1,957	-	-
整合化費用	144	395	(44)	(108)	0	0	100	287	-	-
アバディーン・アセット・マネジメントの株式売却益	(140)	(384)	18	58	0	0	(122)	(326)	-	-
非中核事業の売却益(クラリデン・ロイの統合化)	0	(41)	0	4	0	0	0	(37)	-	-
不動産売却益	(382)	(382)	57	57	0	0	(325)	(325)	-	-
AMF 減損費用	38	38	(15)	(15)	0	0	23	23	-	-
大型 IB 訴訟関連引当金	136	136	(40)	(40)	0	0	96	96	-	-
基礎的業績	1,203	3,835	(308)	(1,046)	(4)	(28)	891	2,76	9.6%	10.4%

注
1 自社債の公正価値評価損益は、米国 GAAP に基づく時価会計の要素で、クレディ・スイス・グループの信用スプレッドのボラティリティを反映し、各社債の償還期間にわたって利益または損失を生じない。

3Q12 Financial Release

The 3Q12 Financial Release and the related Results Presentation Slides are available for download from 06:45 CET today.

The Financial Release is available for download at:

https://www.credit-suisse.com/investors/doc/csg_financialreport_3q12.pdf

Hard copies of the Financial Release can be ordered free of charge at:

<https://publications.credit-suisse.com/app/shop/index.cfm?fuseAction=OpenShopCategory&coid=219303&lang=EN>

The Results Presentation Slides are available for download at:

https://www.credit-suisse.com/investors/doc/3q12_slides.pdf

Information

Media Relations Credit Suisse AG, telephone +41 844 33 88 44, media.relations@credit-suisse.com

Investor Relations Credit Suisse AG, telephone +41 44 333 71 49, investor.relations@credit-suisse.com

Credit Suisse AG

Credit Suisse AG is one of the world's leading financial services providers and is part of the Credit Suisse group of companies (referred to here as 'Credit Suisse'). As an integrated bank, Credit Suisse offers clients its combined expertise in the areas of private banking, investment banking and asset management. Credit Suisse provides advisory services, comprehensive solutions and innovative products to companies, institutional clients and high-net-worth private clients globally, as well as to retail clients in Switzerland. Credit Suisse is headquartered in Zurich and operates in over 50 countries worldwide. The group employs approximately 48,400 people. The registered shares (CSGN) of Credit Suisse's parent company, Credit Suisse Group AG, are listed in Switzerland and, in the form of American Depositary Shares (CS), in New York. Further information about Credit Suisse can be found at www.credit-suisse.com.

Cautionary statement regarding forward-looking information \Non-GAAP information

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as "believes," "anticipates," "expects," "intends" and "plans" and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations and interest rate levels;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of continued slow economic recovery or downturn in the US or other developed countries in 2012 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration or slow recovery in residential and commercial real estate markets;
- adverse rating actions by credit rating agencies in respect of sovereign issuers, structured credit products or other credit-related exposures;
- the ability to achieve our strategic objectives, including improved performance, reduced risks, lower costs, and more efficient use of capital;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2011 under "Risk factors" in the Appendix.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the 3Q12 Credit Suisse Financial Release and the 3Q12 Results Presentation Slides.

Capital and liquidity disclosures

The definitions of regulatory capital and capital ratios used in this press release refer to the regulations under the Swiss "Too-Big-to-Fail" regime as determined by FINMA. Ratio calculations based on these capital definitions use projected Basel III year-end 2012 risk-weighted assets. The expected end-2012 ratios are based on a pro-forma calculation assuming successful completion of the capital measures announced in July 2012 and using Bloomberg consensus net income estimates (adjusted for actual 9M12 net income and fair value losses on own debt in 3Q12) and Credit Suisse Basel III risk-weighted assets estimates. The calculation of net stable funding ratio (NSFR) is based on the current FINMA framework. As Basel III will not be implemented before January 1, 2013, our Basel III risk-weighted assets, capital and NSFR were calculated in accordance with the currently proposed requirements and our current interpretation of such requirements, including relevant assumptions. Changes in the actual implementation of Basel III, FINMA rules and regulations or any of our assumptions or estimates would result in different numbers from those used in the release.